

# プログラム

第1日目 7月23日(土)

◆理事会 10:00~10:50 第2会場(教室120)

◆開会式・学会奨励賞講演 11:00~11:50 第1会場(関湊記念ホール)

座長: 深井穂博(深井保健科学研究所)

演者: 成人の健康と関わる食事や食習慣に関する研究

中出麻紀子(兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程 准教授)

演者: 多様な体力レベルの高齢者が実施可能な認知症予防プログラムの開発および実践活動

根本裕太(日本学術振興会特別研究員(東京医科大学公衆衛生学分野)、東京都健康長寿医療センター研究所)

◆総会 12:20~13:10 第1会場(関湊記念ホール)

◆特別報告 13:10~13:25 第1会場(関湊記念ホール)

座長: 中村正和(地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長)

演者: アクションリサーチの報告のためのガイドラインについて

助友裕子(日本女子体育大学 教授)

◆学会長講演 13:30~14:20 第1会場(関湊記念ホール)

座長: 中村正和(地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長)

演者: 伝統と創造~分野を超えた新時代の健康教育を目指して~

小橋 元(獨協医科大学 副学長)

◆特別講演 15:00~16:00 第1会場(関湊記念ホール)  
(公開)

座長: 小橋 元(獨協医科大学 副学長)

演者: こころに響くメッセージとは ~いま、何を、どう伝えるか~

岩室紳也(ヘルスプロモーション推進センター(オフィスいわむろ) 代表)

◆学術委員会とアドボカシー研究会 合同シンポジウム 16:00~17:00 第2会場(教室120)

アクションリサーチからアドボカシーへ

座長: 中村正和(学術委員会委員長)、江川賢一(アドボカシー研究会委員長)

演者: 住民主体の健康なまちづくりへの挑戦

芳賀 博(佐久大学大学院看護学研究科)

演者: 身体活動促進に向けた公的・私的セクターにおける協働と挑戦

鎌田真光(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻健康教育・社会学分野 客員教授)

◆若手の会企画 17:00~18:00 第2会場(教室120)

企画: 日本健康教育学会若手の会

演者: コミュニティとのヘルスプロモーション研究の立ち上げ方: 現場との研究を

後押しするパートナーシップの築き方

助友裕子(日本女子体育大学 教授)

- ◆一般演題発表 14:30～15:00 ポスター会場 (関湊記念ホール)  
(ポスター)
- ◆一般演題発表 17:00～18:00 第3会場 (教室 138)、第4会場 (教室 145)  
(□ 演)
- ◆一般演題ラウンドテーブル 16:00～18:00 第5会場 (教室 203)、第6会場 (教室 204)、  
第7会場 (教室 206)

## 第2日目 7月24日 (日)

- ◆一般演題発表 9:00～9:45 第2会場 (教室 120)、第3会場 (教室 138)、  
第4会場 (教室 145)  
(□ 演)
- ◆メインシンポジウム 9:50～11:20 第1会場 (関湊記念ホール)  
健康教育の過去・現在・未来  
～学会の歴史と現状を踏まえて今後の活動を展望する～  
座長：福田 洋 (順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座 特任教授)  
春山康夫 (獨協医科大学先端医科学統合研究施設 研究連携・支援センター 教授)  
演者：健康は学際的研究を必要としている～健康教育学を超えたアプローチが課題～  
島内憲夫 (順天堂大学 名誉教授)  
演者：2005年から2014年までの理事長を経験して思う学会の過去・現在・未来  
衛藤 隆 (東京大学 名誉教授)  
演者：ヘルスプロモーションにおける『統整的理念』の継承  
神馬征峰 (東京大学大学院医学系研究科・国際地域保健学教室 教授)  
演者：栄養領域から、これからの健康教育・ヘルスプロモーションを考える  
武見ゆかり (女子栄養大学栄養学部 教授)
- ◆教育講演 11:30～12:25 第1会場 (関湊記念ホール)  
座長：小橋 元 (獨協医科大学 副学長)  
演者：命の危機と向き合う患者に寄り添う  
～医療者が患者と対話をするために知っておきたいこと～  
清水 研 (がん研有明病院腫瘍精神科 部長)
- ◆一般演題発表 13:30～13:30 ポスター会場 (関湊記念ホール)  
(ポスター)
- ◆次世代交流セミナー 13:30～14:30 第1会場 (関湊記念ホール)  
座長：木村美也子 (聖マリアンナ医科大学 講師)  
松下宗洋 (東海大学体育学部生涯スポーツ学科 講師)  
演者：保健授業のいま、これから  
山合洋人 (筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭)  
演者：スキあらばアクション！ 健康教育ははじめの一步  
齋藤宏子 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科 博士後期課程)

- ◆一般演題発表 13:30～14:30 第2会場(教室120)、第3会場(教室138)、  
(□ 演) 第4会場(教室145)
- ◆一般演題ラウンドテーブル 13:30～14:30 第5会場(教室203)、第6会場(教室204)、  
第7会場(教室206)
- ◆表彰式・閉会式 14:40～14:50 第1会場(関湊記念ホール)
- ◆市民公開講座 15:00～16:00 第1会場(関湊記念ホール)  
原因不明の様々な症状に立ち向かう疫学研究から見てきたこと  
座長：平田幸一(獨協医科大学 副学長)  
演者：中枢神経感作とは？—関連する神経疾患について  
鈴木圭輔(獨協医科大学 脳神経内科 教授)  
演者：一般住民における「原因不明の様々な症状」に関する中枢神経感作症候群とは何か？  
春山康夫(獨協医科大学先端医科学統合研究施設研究連携・支援センター 教授)

# 一般演題発表（口演）

7月23日（土）

17:00～18:00（第3会場／教室138）

座長 白石 弘美（人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科）

**○-1** 学童期の家族との共食頻度及び調理の手伝い経験が女子大学生の食行動・食態度及び家族からの料理の伝承に与える影響  
衛藤 久美（女子栄養大学）

**○-2** 勤労者における性別・婚姻状況別にみた友人・同僚との共食頻度と健康・食生活・生活習慣との関連  
種瀬 柚季（女子栄養大学大学院）

**○-3** 乳幼児期の環境と学童期の野菜の好き嫌いとの関連  
～「野菜を好きになる保育園ベジ・キッズ」を参照とした環境要因の検証～  
米沢 祐大（カゴメ株式会社 イノベーション本部 自然健康研究部 野菜摂取エビデンス研究グループ）

**○-4** 野菜摂取量と労働生産性における関連性の検討  
北田 千晶（カゴメ株式会社）

17:00～18:00（第4会場／教室145）

座長 梅澤 光政（獨協医科大学 医学部）

**○-5** 成人式を迎えた若者の喫煙をめぐる意識と行動：和歌山県日高医師会成人式調査結果から  
北野 尚美（和歌山県立医科大学 医学部健康管理センター）

**○-6** 女子大学における学内禁煙のための健康教育の取り組み－簡易アンケートによる評価  
鈴木 朋子（大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部健康栄養学科）

**○-7** 若年女性を対象とした健康教育プログラムの開発－事前調査から見えた介入対象者の現状と課題－  
井澤 莉佳（宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科社会デザイン科学専攻）

**○-8** 栄養士・管理栄養士養成専門学校における安全衛生教育に関する取り組み  
～行動科学理論を取り入れた負傷防止の意識付け～  
亀山こころ（華学園栄養専門学校）

## 7月24日(日)

### 9:00～9:45(第2会場/教室120)

座長 齋藤 京子(淑徳大学 教育学部 こども教育学科)

- O-9** 新型コロナウイルス感染症流行下における感染予防/健康行動の変化:幼い子を養育する母親を対象とした縦断調査による検証

木村美也子(聖マリアンナ医科大学)

- O-10** 働く世代における交通行動(Travel Behavior)とBMIとの関連

神谷 義人(名桜大学 人間健康学部スポーツ健康学科)

- O-11** 感染症拡大前後6年間における地域在住高齢者の身体活動量の変化:3時点パネルデータによる検討

根本 裕太(東京医科大学)

### 9:00～9:45(第3会場/教室138)

座長 阿部 美子(獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座)

- O-12** 新型コロナ危機による保育士の離職とバーンアウト防止のための組織及び行政支援の在り方

桐木 陽子(松山東雲短期大学 現代ビジネス学科)

- O-13** コロナ禍における保育士の精神的健康状態とそれに関連する要因の検討

友川 幸(信州大学 学術研究院教育学系)

- O-14** 保育所における健康危機管理に関するレジリエンスとマネジメントの実態と課題 - コロナ禍発生前後の変化に着目して -

友川 礼(松山東雲女子大学 人文科学部心理子ども学科)

### 9:00～9:45(第4会場/教室145)

座長 千種 雄一(獨協医科大学 国際交流支援室)

- O-15** アジア太平洋島嶼国の学校保健政策策定のための標準的段階作成の試み

小林 潤(琉球大学大学院 保健学研究科国際地域保健学)

- O-16** インドネシア共和国マタラム市の一般教育課程公立高等学校において教師が包括的性教育に関する葛藤を克服するプロセス:質的研究

渋谷 文子(琉球大学大学院 保健学研究科国際地域保健学分野)

- O-17** A comparison of the prevalence of metabolic syndrome among urban population in Mongolia and Japan

Enkhtuguldur Myagmar-Ochir(獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座)

### 13:30～14:30 (第2会場/教室120)

座長 大出 理香 (人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科)

**O-18** 食に関する指導のPDCAサイクルからみた栄養教諭と担任教諭の連携状況に与える要因の検討  
西 太郎 (大阪公立大学大学院 生活科学研究科)

**O-19** 若年女性によるダイエット商品口コミデータを用いた信頼性および商品利用実態の解明と栄養教育方法の検討  
香西 希 (元 大阪市立大学 生活科学部)

**O-20** 東日本大震災後のアウトリーチ型料理教室の第三者評価：ステークホルダーへの報告会の試み  
黒田 藍 (帝京大学大学院 公衆衛生学研究科)

**O-21** COVID-19感染拡大下における食生活習慣をみなおす食事チャレンジ  
小林 優香 (山形大学 農学部)

### 13:30～14:30 (第3会場/教室138)

座長 小宮 秀明 (宇都宮大学 共同教育学部)

**O-22** 幼稚園児を対象とした手洗い教育の効果の検討～手洗いの習慣と手洗いの能力に着目して～  
上野真理恵 (東京学芸大学)

**O-23** 小学生の生活習慣の実態及び睡眠教育の効果検証  
大脇 花奈 (あいち健康の森健康科学総合センター)

**O-24** 認知症高齢者への共感性を高めるための小学生向けICT教材の評価  
榊田 聖子 (大阪公立大学 情報学研究科現代システム科学域)

**O-25** セクシュアリティの視点からの組体操再考  
橘 那由美 (聖泉大学 人間学部)

### 13:30～14:30 (第4会場/教室145)

座長 入江 駿 (獨協医科大学 スマート医療研究部門)

**O-26** 学会員からの満足度が高かったナッジ研修会はターゲットを変えても同様の評価を得られるのか?  
竹林 正樹 (青森県立保健大学大学院)

**O-27** 地域健康増進におけるウェアラブル装着を併用した運動教室と糖尿病専門医によるメディカルアドバイスとの組み合わせの効果  
佐藤 文彦 (Basical Health 株式会社)

**O-28** だれもが自分らしく生きる環境をめざす総合型地域スポーツクラブ「スマイルクラブ」の挑戦  
安藤 裕一 (株式会社 GMSS ヒューマンラボ)

# 一般演題発表（ポスター）

7月23日（土） 関湊記念ホール 14:30～15:00

P-1

中学校での食育における iPad の活用：多角的評価による有用性と課題の探索  
早見 直美（大阪公立大学大学院 生活科学研究科）

P-2

高校生硬式野球部のトレーニング期における自己決定を促す栄養サポートの効果  
上田由喜子（龍谷大学）

P-3

管理栄養士をめざす学生の防災意識と備蓄食品の選択から栄養教育や啓発の取り組みを考察する  
本多美預子（大手前大学 健康栄養学部）

P-4

管理栄養士課程以外の学生における野菜摂取量と経済状況、食習慣、食意識との関連  
福井 涼太（長野県立大学）

P-5

コロナ禍におけるオンライン栄養教育の実践  
大出 理香（人間総合科学大学 人間科学部健康栄養学科）

P-6

新型コロナウイルス感染症と内容別の集団健康教育ー地域保健・健康増進事業報告ー  
乾 明成（弘前大学大学院 医学研究科）

P-7

新型コロナウイルスワクチンに対する態度～高校生による検討～  
城川 美佳（神奈川県立保健福祉大学）

P-8

大学生における精神的フィットネスの関連要因の検討ー社会的スキルと情緒的支援ネットワークに着目してー  
水野 陽介（上智大学大学院）

P-9

大学生における健康に関連する身体的フィットネスと精神的フィットネスの関連性  
水野 哲也（東京医科歯科大学 教養部保健体育学分野）

P-10

保健医療福祉系大学における「ヘルスリテラシー科目」の教育効果  
古川 照美（青森県立保健大学 健康科学部看護学科）

P-11

看護学生を対象とした性感染症教育に関する文献検討  
豊田 幸穂（自治医科大学付属病院）

P-12

看護師および学生に対する簡易版マインドフルネスの介入効果

岩田 昇（桐生大学 医療保健学部看護学科）

P-13

職場の朝礼参加を通じた産業保健師の支援

高松みどり（出光興産株式会社）

P-14

一般労働者における組織 SOC (sense of coherence) 尺度の適用可能性—インターネット調査データからの検討—

戸ヶ里泰典（放送大学）

## 7月24日（日） 関湊記念ホール 13:00～13:30

P-15

バスキュラー・ストレッチングが後期高齢者の動脈硬化度に及ぼす影響

新野 弘美（帝塚山学院大学）

P-16

「フレイル予防『食・栄養』健康学習会」参加者の食品摂取状況とその背景要因 -グループワーク内容からの抽出-

山本十三代（摂南大学 看護学部）

P-17

男女別の指輪っかテストと基本チェックリスト、年齢、体格指数の4者の関係

松原 建史（株式会社健康科学研究所）

P-18

全身持久力と主観的健康感ならびに指輪っかテストの関係性

植木 真（株式会社健康科学研究所）

P-19

歩行企图から三歩までの歩容に関する事例的研究～運動習慣介入前のフレイルとロバストにおける歩容特性について（歩行速度）～

山内 賢（慶應義塾大学 体育研究所）

P-20

地域在住高齢者の食行動に影響を与えるライフイベントに関する研究計画

佐藤 清香（お茶の水女子大学大学院）

P-21

地域高齢者の排泄に関する意識・行動変容を促す健康教育活動

高橋 競（獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座）

P-22

特定保健指導における面談方法別の健康アウトカムへの影響（第一報）

金森 悟（帝京大学大学院 公衆衛生学研究科）



**P-23**

1年間に受けた健康・栄養教育は食生活リテラシーの向上に影響しているか：1年間の縦断調査から  
高泉 佳苗（仙台青葉学院短期大学 栄養学科）

**P-24**

日本の2010年代における世帯年収による健康格差の推移－国民健康・栄養調査 報告書からの推定－  
町田 大輔（群馬大学 共同教育学部家政教育講座）

**P-25**

ブリーチドプロシードモデルを用いた健康教育実習の学習効果の検討  
諏澤 宏恵（京都光華女子大学）

**P-26**

地域で生活している人の健康への関心を高めるために「健康を語ろう会」の活動と課題  
小林美智子（東京医療学院大学 保健医療学部看護学科）

**P-27**

若手の会による学習会「『健康行動理論による研究と実践』の輪読とグループワーク」の実践報告  
大内 実結（お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科）

**P-28**

ウェアラブル端末を用いた睡眠不足感と高血圧改善への試み  
鈴木 桂子（大東文化大学 スポーツ・健康科学部看護学科）

# 一般演題発表（ラウンドテーブル）

7月23日（土）

**RT-1** 16:00～17:00 （第5会場／教室203）

幼児や児童を対象とした健康教育教材「あそびを通して暮らしを変える！けんこうニコニコカード」の活用  
吉井 瑛美（長野県立大学）

**RT-2** 16:00～17:00 （第6会場／教室204）

学期を対象とした包括的な健康教育実践のための人材確保と地域社会の連携の在り方：青年海外協力隊活動から得られた教訓を基に  
手島 祐子（国際学校保健コンソーシアム）

**RT-3** 16:00～17:00 （第7会場／教室206）

ナッジによる自己モニタリングと野菜摂取行動の促進  
信田 幸大（カゴメ株式会社 健康事業部）

**RT-4** 17:00～18:00 （第5会場／教室203）

高校での精神疾患の学びにこたえる学校・教職員の役割を考える  
大島 紀人（東京大学 相談支援研究開発センター）  
ファシリテーター：岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ））

**RT-5** 17:00～18:00 （第6会場／教室204）

健康教育T Y A方式の応用的側面に関する考察～大学生に対する教材開発の観点から～  
浅田 豊（青森県立保健大学）

**RT-6** 17:00～18:00 （第7会場／教室206）

企業への総合健康保険組合からのアプローチ～保健事業の導入支援や担当者交代時の中断予防に向けて～  
外門 悠子（デパート健康保険組合）  
ファシリテーター：金森 悟（帝京大学大学院 公衆衛生学研究科）

7月24日（日）

**RT-7** 13:30～14:30 （第5会場／教室203）

健康教育、ヘルスプロモーション分野の国際学会発表の活性化とIUHPEに参加する意義・楽しさ・魅力について考える  
福田 洋（順天堂大学大学院 医学研究科先端予防医学・健康情報学講座）

**RT-8** 13:30～14:30 （第6会場／教室204）

保健医療データの活用と共分散構造分析 - 健康教育への展開と分析事例 -  
中山 直子（神奈川県立保健福祉大学）

**RT-9** 13:30～14:30 （第7会場／教室206）

就労継続支援事業所に通所する成人の間食による糖質摂取状況の把握と糖質適正摂取のために支援者ができること  
佐々木 健（北海道釧路総合振興局 保健行政室（釧路保健所））